

令和2年度 米子市美術館の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆司 様

報告者 名称 一般財団法人 米子市文化財団  
所在地 米子市末広町293  
代表者氏名 理事長 杉原 弘一郎 ㊞

<p>管理業務の 実施状況</p>	<p>1 施設管理の充実 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、玄関に手指消毒液を設置、受付等に飛沫防止用アクリルボードを設置、非接触式体温計による検温、緊急連絡先記入による来場記録の把握、接触頻度の高い場所の定期的な消毒清掃を行い、安心安全な環境を確保した。</p> <p>2 利用者サービスの向上 (1) 4月にホームページをリニューアルし、直近の展示がわかりやすいレイアウトに改善した。 (2) 特別共催展及び米子市展の中止に伴い、ソーシャルディスタンスに配慮した展示構成による臨時企画「美術館スタッフが選んだ！米子市美術館コレクション15選」を観覧無料で開催。スタッフの視点で選りすぐった作品を解説付きで展示することで、改めて当館の収蔵品について紹介できる機会となった。 (3) 鳥取県立博物館等と連携し、郷土出身作家(辻晋堂、岩宮武二、杵島隆)を顕彰する企画を充実させた。特別企画展「異才 辻晋堂の陶彫」では、感染症拡大防止に配慮しながらリトグラフや陶彫のワークショップ、未就学児と親のための鑑賞会、認知症の方のための鑑賞会などを実施し出品作への関心喚起、理解促進に努めた。また出品作をイメージしたメニュー「オマンマのかき氷」をカフェで数量限定販売し、辻作品の造形的な面白さをアピールした。 (4) ミュージアムスクール「米子彫刻ロード探検ツアー」(解説付き散策)を、フレイル予防に特化した「アートな散歩」に改称し、街歩きを楽しみたいアクティブシニア層のニーズに応えた。 (5) 10月からSNS(Twitter)のアカウントの運用を開始、展覧会告知のほか日常のトピックなどを発信、また投票機能を活用しキャッシュレス決済導入に向けたアンケートを実施した。 (6) 若手作家支援展「マツダケン展 みせられるもの」の会期を、貸館展示の開催時期に合わせ相乗効果を狙い、これまで来館機会の少なかった若年層を誘客することができた。カフェでも展覧会と連動したメニュー「みせられるパフェ」を数量限定販売し、来場者が楽しめる話題を提供した。</p> <p>3 施設管理業務 別紙1のとおり 4 主催事業 別紙2のとおり</p>
<p>施設の 利用状況</p>	<p>1 貸館利用者へのサービス向上 (1) 希望団体の事前申請により、開館時間外の延長利用(開会式、搬入出作業)に対応した。 (2) 利用者との打ち合わせを徹底し、照明プランや展示レイアウトのアドバイスをを行った。</p> <p>2 施設の利用状況 別紙1のとおり ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4/14(火)から5/22(金)まで臨時休館</p>
<p>使用料(利用料金)の収入実績</p>	<p>1 施設の利用収入 別紙1のとおり</p>

## 管理業務の実施状況

## (1) 施設管理業務

実施月	主な事項
4月	電気設備点検、冷房準備点検、ガス閉栓、電子複写機機種入替、第1収蔵庫純水器カートリッジ交換、第1収蔵庫前室扉点検、応接室網戸取付
5月	第1収蔵庫・第5展示室・ホールLED化電気工事、エレベーター点検、ワックス剥離・塗布清掃、第3展示室排風機起動用タイマー交換、玄関横サツキ剪定、屋上点検・清掃、《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフ清掃
6月	電気設備点検、エアコン・全熱交換器交換点検、第1・2収蔵庫用パッケージエアコンVベルト交換、飛沫防止用アクリルボード設置、事務用パソコン入替、公用車車検整備
7月	自動制御設備定期点検、第1・2展示室床Pタイル部分貼替、喫茶前植込剪定、フェンス北側除草、除草剤散布
8月	電気設備点検、エレベーター点検、除草剤散布、機械室漏水点検、ワックス清掃、ガラスクリーニング
9月	消防設備点検、《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフ清掃
10月	電気設備点検、フェンス北側除草、除草剤散布、喫茶用温水器点検
11月	エレベーター点検、喫茶用温水器交換、フィルター清掃、冷却塔清掃、エアコン・全熱交換器点検、ガス開栓、ボイラー点検、空調機・換気ファン点検、第1収蔵庫加湿ユニット蒸気ホース交換、ホール水銀灯交換
12月	電気設備点検、第1収蔵庫扉錠調整、公用車タイヤ交換
1月	ホール系統空調機用加湿器交換、同電磁弁調整
2月	電気設備点検、エレベーター点検、消防設備点検、自動ドア点検、AEDパッド・バッテリー交換、第1収蔵庫前室天井漏水点検、ホール系統空調機用加湿器再交換、第1収蔵庫純水器カートリッジ交換
3月	ワックス清掃、ガラスクリーニング、ガス保安点検、第1収蔵庫加湿ユニット漏水点検・ホース交換、第1～4展示室防火扉速度調整、公用車タイヤ交換、フェンス北側除草
その他	職員による館内・施設周辺日常点検、日常清掃業務、特別企画展・県展会期中時間延長清掃、夜間機械警備業務

## (2) 事業の実施状況

施設の利用状況 開館日数276日、展示日数228日  
総入館者数 59,311人

## ①貸館事業

室名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)	利用料(円)	備考
第1展示室	156	18	19,995	522,740	
第2展示室	62	6	7,813	304,207	
第3展示室	155	17	18,941	612,540	
第4展示室	149	16	20,496	1,185,444	
第5展示室	53	8	3,172	72,011	
合計	169	49	40,946	2,696,942	

※利用日数、利用件数、利用者数の合計は重複しているものを除く

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による開催中止(予約キャンセル)は10件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4/14(火)から5/22(金)まで臨時休館

②主催事業

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>鑑賞事業</b>			
特別企画展 生誕110年記念 <b>異才 辻晉堂の陶彫</b> 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 助成：芸術文化振興基金 協力：鳥取県立博物館 企画：イムラアートギャラリー 関連事業：	7/18(土) ～8/23(日) [32日間]	1,543	鳥取県日野郡溝口町二部村(現・西伯郡伯耆町二部)出身の彫刻家・辻 晉堂[つじ・しんどう/1910 -1981]が、今年生誕110年を迎えるのを記念し、陶彫による抽象作品で国際的に活躍した京都時代に焦点を当て展観。 1958年の第29回ヴェネツィア・ビエンナーレ展に出品された大型の陶彫をはじめ、晩年のユーモアあふれる「粘土細工」と言われる作品など代表的な作品50点を中心に、版画と素描30点とともに紹介。当館では巡回作品以外の収蔵品の辻作品も併せて紹介。展覧会図録刊行。 会場：第1～4展示室 観覧料：一般1,000(800)円、大学生以下無料 ＊( )内は前売、70歳以上の方、障がいのある方[付添1人を含む]、15名以上の団体、リピーター、美術館後援会会員、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方の料金
オープニングトーク	7/18(土)	(48)	解説：三谷巍氏 (元鳥取県立博物館学芸員、フリーキュレーター)
ワークショップ「はじめてのリトグラフ」	8/2(日)	10(※)	講師：生田眞氏(版画家) 会場：米子市児童文化センター 第1クラブ室 (第1回ミュージアムスクール)
発見♪おしゃべり鑑賞会(対話型鑑賞会)	8/8(土)	(4)	講師：青戸副館長、小川統括学芸員 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定の鳥取県立博物館学芸員から講師変更)
ワークショップ「はじめての陶彫」	8/9(日)	10(※)	展示解説：青戸副館長 講師：安藤真澄氏、安藤愉理氏(陶芸家、法勝寺焼松花窯) 会場：米子市立図書館 多目的研修室
おしゃべり鑑賞会(認知症のかたのための鑑賞会)	8/10(月・祝)	(6)	認知症のかたとその家族などを対象にした対話型鑑賞。 解説：小川統括学芸員
学芸員によるギャラリートーク	8/15(土)	(10)	解説：青戸副館長
未就学児と親のためのギャラリートーク	8/20(木)	(6)	0～4歳の未就学児と親・祖父母などを対象にした対話型鑑賞。 解説：青戸副館長
<b>管理運営等事業</b>			
<b>展覧会事業</b>			
特別共催展 <b>フォーエバー現代美術館コレクション            草間彌生展</b> 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、新日本海新聞社 関連事業：	4/25(土) ～5/31(日) 会期中無休 [37日間] [中止]	-	世界を舞台に活躍を続ける前衛芸術家・草間彌生[1929- ]。鳥取県初の本格的な草間彌生展となる本展では、フォーエバー現代美術館が所蔵する豊富なコレクションから絵画、版画、立体作品など約130点を展示する予定であった。 ※新型コロナウイルス感染症拡大により政府から発出された緊急事態宣言により、作品搬入が困難になったため開催中止。前売券の払い戻しを4/25～5/31に実施。
オープニングギャラリートーク	4/25(土) [中止]	-	
学芸員によるギャラリートーク	5/9(土) 5/23(土) [中止]	-	
<b>【新規】臨時企画コレクション展            美術館スタッフが選んだ！            米子市美術館コレクション15選</b> 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	5/23(土) ～7/5(日) [38日間]	1,114	「フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生展」の開催中止に伴い、当館収蔵品のなかから館長をはじめ6人のスタッフにより選んだ作品を、ソーシャルディスタンスに配慮した展示構成により紹介した。 会場：第2展示室 観覧料：無料

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>第60回記念 米子市美術展覧会(市展)</b> 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	6/26(金) ～7/4(土) 会期中無休 [9日間] [中止]	-	市民から公募した洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻の6部門の美術作品を展示する予定であった。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 (第60回記念展は次年度に延期)
共催展 <b>共に生きるアート展 KANSEI 7</b> ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催:米子市 共催:米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	9/24(木) ～9/29(火) 会期中無休 [6日間]	806	これまでの「米子市障がい者アート展」から名称を改め、市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品154点を展示。 会 場:第4展示室 観覧料:無料
<b>第64回 鳥取県美術展覧会(県展)</b> 主催:鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催:(一財)米子市文化財団 米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館	10/3(土)～ 10/12(月) 会期中無休 [10日間]	2,962	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品421点を展示。 会 場:全館 観覧料:無料 * 初日、審査員による講評とギャラリートークを開催
常設(コレクション)展 I 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 鳥取県立博物館・米子市美術館共同企画  <b>生誕100年記念            岩宮武二 目前心後(もくぜんしんご)</b>  主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、鳥取県立博物館 協力:鳥取県ミュージアムネットワーク	9/6(日) ～9/27(日)  [19日間]	861	関西を拠点に活躍した写真家・岩宮武二[1920-1989]の郷里米子での30年ぶりとなる回顧展。初期作品をはじめ代表作《佐渡》《かたち》《日本海》のシリーズを中心に、印画紙をアルミニウムに置き換えた実験作《アル・フォト》など63点を展示。 会 場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 * 大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 * ( )内は15名以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方、日本海クラブうさみみ、山陰中央新報さんさんクラブ会員の方の料金
関連事業: ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	9/12(土)	(17)	解説:小川統括学芸員
常設(コレクション)展 II 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 鳥取県立博物館・米子市美術館共同企画  <b>生誕100年記念            杵島隆:不滅のパイオニア精神(スピリット)</b>  主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、鳥取県立博物館 協力:鳥取県ミュージアムネットワーク	10/25(日) ～11/29(日)  [31日間]	2,432	広告写真のパイオニア・杵島隆[1920-2011]が戦後の米子を活写した作品から、広告写真の試作や懸賞入選作、代表作であるヌードの連作、後半生のライフワークとなった「蘭」の大作、写真原稿による屏風作品を紹介。会期中一部展示替を行い、前期54点、後期53点(通期で70点)を展示。 会 場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 * 大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 * ( )内は15名以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方、日本海クラブうさみみ、山陰中央新報さんさんクラブ会員の方の料金  *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/14、11/15の3日間 (期間中入場者数:1,018人)
関連事業: ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	10/31(土)	(51)	解説:赤井あずみ氏(鳥取県立博物館主任学芸員)、小川統括学芸員
<b>若手作家支援展            マツダケン展 みせられるもの</b>  主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 助成:ごうぎん鳥取文化振興財団	R3.1/24(日) ～2/21(日)  [25日間]	8,608	水彩とペンで「動物と植物の共生」をテーマに制作する米子市出身の画家・イラストレーターのマツダケン[1990年生まれ]の作品84点を展示。 会 場:第2展示室 観覧料:無料
関連事業: アーティストトーク(作家による展示解説)	1/30(土) [中止]	-	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>教育普及事業</b>			
ミュージアムスクール	全3回		
第1回 ワークショップ「はじめてのリトグラフ」	8/2(日)	10(※)	講師:生田真氏(版画家) 会場:米子市児童文化センター 第1クラブ室 (特別企画展関連事業)
第2回 アートな散歩 【新規】フレイル予防事業	10/11(日)	14(※)	解説:喜多村主幹 会場:米子市文化ホール～鳥取県西部総合事務所他
第3回 美術上映会 「プルシャンブルー 世界を巡った謎の青」	R3.2/28(日)	39	解説:小川統括学芸員 会場:第3展示室
<b>出前講座</b>			
文化講演会「辻晋堂の陶彫の魅力」	7/4(土)	75(※)	依頼元:伯耆町文化振興会 解説:青戸副館長 会場:農村環境改善センター
レクチャー「米子市美術館の収蔵品や取り組みについて」	7/26(日) [中止]	-	依頼元:米子地区書道連盟 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
辻晋堂 作《拓士の像》保存・維持プロジェクト	10/6(火)	5(※)	依頼元/会場:伯耆町立二部小学校 解説:青戸副館長
辻晋堂 作《拓士の像》保存・維持プロジェクト 第2弾	11/5(木)	5(※)	依頼元/会場:伯耆町立二部小学校 解説:青戸副館長
【開催中止】 米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業	-	-	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル (三の丸PARKFes内で開催)	R3.3/27(土)	1,950(※)	米子市文化財団の各施設が集まり、1日限定の昔遊び、工作、弓矢体験などのワークショップを実施。美術館ブースでは「オリジナルのガーランドを作ろう!」を実施、134人参加。 会場:米子城跡三の丸広場(旧米子市宮湊山球場)
博物館実習受入	随 時	-	- 今年度希望なし
インターンシップ受入		-	- 2人受入(島根大学1人、鳥取短期大学1人)
モニター制度	通 年	-	- 展覧会観覧後、モニターレポートを提出 (第7期2年目・1人登録)
サポーター制度	通 年	-	- 展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等 13回活動(第7期2年目・9人登録)
アンケート	通 年	-	- 来場者に受付配布し、全主催事業で実施
ホームページによる情報提供	通 年	-	- 展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、 チケット取扱等随時更新
【新規】SNSによる情報発信	10月運用開始 随 時	-	- Twitter上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
<b>資料収集事業</b>			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通 年	-	収蔵作家関係、郷土作家、若手作家関係調査
		-	次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通 年	-	- 収蔵品管理システム逐次入力
収蔵図書データベース化	通 年	-	- 図書データベース逐次入力
収蔵品の修理・修復	随 時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入
		-	岩宮武二写真作品5点ブックマット装
		-	南孝写真作品3点ブックマット装
		-	元谷督太郎写真作品1点ブックマット装

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
収蔵品の貸出等	随時	-	「異才 辻晋堂の陶彫」巡回会場(愛知県陶芸美術館)へ 辻晋堂《犬》ほか計4点貸出
			「異才 辻晋堂の陶彫」巡回会場(美術館「えき」KYOTO)へ 辻晋堂《犬》ほか計3点貸出
			生誕100年記念「杵島隆:不滅のパイオニア精神」鳥取会場 (鳥取県立博物館)へ 杵島隆《女》ほかエタン派所属作家作品計50点貸出
			「郷土のたたらと刀剣の歴史」(米子市立山陰歴史館)へ 市所蔵の保管作品《太刀 菊水紋伯耆国住人正孝》1点貸出
			「古伯耆物の系譜」(鳥取県文化財課・会場・日南町美術館)へ 寄託作品《太刀 銘 安綱》ほか計3点貸出
			「伯耆書院展 -皆生温泉ものがたり-」(館内展示)へ 秋山庄太郎《司葉子》ほか計2点貸出予定
			NHK日曜美術館「マグマを宿した彫刻家・辻晋堂」制作・放映の ための撮影(辻晋堂《オマンマの塔》ほか計6点)
			論文制作のための撮影(辻晋堂《犬》)
			画像貸出5件(10点)
収蔵品状況			洋画196点、日本画90点、素描294点、彫刻34点、書10点、版画 363点、写真841点、工芸1点、資料72点 合計1,901点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
ミュージアムスタンプラリー	通年	-	達成者に記念品贈呈
開館記念日イベント	6/16(火) 6/18(木)	44(※)	臨時企画コレクション展の来場者に館蔵品ポストカードをプレゼント
【新規】井上幸夫・英子コレクション展示替等	随時	-	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工 芸作品について定期点検を実施
主催事業入場者数合計(人)		18,365	美術館外で実施したもの(※)及び ギャラリートークなど入場者が重複しているもの( )は除く

米子市美術館の管理業務の実施に係る収支状況(令和2年度)			
収入(円)		支出(円)	
項目	金額	項目	金額
指定管理料収入	52,656,000	人件費	27,544,140
利用料収入	2,696,942	館長(1人)	
事業収入	1,793,369	副館長(学芸員兼務1人)	
特別企画展	1,101,620	学芸員(2人)	
特別共催展	36,781	事務員(2人)	
常設(コレクション)展	212,580	施設費	20,501,521
若手作家支援展	422,388	旅費交通費	6,224
教育普及事業	20,000	通信運搬費	200,496
補助金等収入	1,856,800	手数料	151,624
日本芸術文化振興会	1,308,000	消耗品費	774,795
米子市	413,400	修繕費	461,600
ごうぎん鳥取文化振興財団	100,000	印刷製本費	17,050
鳥取県ミュージアムネットワーク	35,400	燃料費	35,074
雑収入	260,415	食糧費	4,710
財団繰入金	4,480,676	光熱水料費	7,798,691
		電気・ガス・上下水道	
		賃借料	3,385,277
		保険料	66,100
		租税公課	2,629,900
		支払負担金	62,000
		委託費	4,907,980
		清掃委託費	
		警備委託費	
		昇降機保守点検費	
		空調設備機器保守点検費	
		消防用設備機器保守点検費	
		自動ドア保守点検費	
		収蔵庫純水器交換費	
		施設事業費	12,493,541
		特別企画展	9,084,888
		特別共催展	551,822
		常設(コレクション)展	1,374,481
		臨時企画コレクション展	254,570
		市展	75,372
		県展	15,076
		若手作家支援展	643,581
		教育普及事業	88,520
		資料収集事業	201,569
		当財団施設連携事業	24,153
		井上コレクション展示替等	179,509
		事務局費	3,205,000
合計	63,744,202	合計	63,744,202